

## 北海道地域農業交流セミナーの開催案内

<趣 旨> IT 技術の急速な進展は、リモートセンシングや GIS、生産履歴情報、土壌分析など営農情報の高度利用を可能とし、その更なる進展は、農作業中でのリアルタイムな情報収集、蓄積した情報の農作業へのフィードバックなどを通じて、精緻で高度な農作業や自動化、意思決定への反映が期待される。とくに、北海道などの大規模農家に導入されつつある GPS ガイダンスシステムは正確で効率的な作業を行うアイテムとしてその活用に大きな期待が寄せられている。そこで、次世代の高度な農作業を実現するための農作業機械や通信制御に関する国内外における最新の研究開発状況を解説するとともに、大規模先進農家における利用実態に関する報告などから、開発技術と農家ニーズとのマッチング、今後の研究開発の方向性や農業機械に求められる機能や性能などについて論議する。

<日 時> 平成 23 年 12 月 6 日 (火) 10:30 ~ 16:00

<会 場> KKR ホテル札幌 (3F 鳳凰)(札幌市中央区北 4 条西 5 丁目)

<テーマ> 高度化する農業技術(機械・情報)と大規模先進農業への活用

~トラクタ・作業機の通信制御システムやGPSガイダンスシステムの導入を中心に~

### <内 容>

#### 1 挨拶

#### 2 基調講演 (10:40 ~ 11:25)

「北海道農業に不可欠な情報化・自動化技術の動向と展望」

北海道大学大学院農学研究院教授 野口 伸氏

#### 3 海外情勢報告 (11:25 ~ 12:00)

「海外における先端技術の農業機械利用 - AGRITECHNICA に参加して」

道総研中央農業試験場生産研究部長 竹中 秀行氏

#### 4 研究報告 (13:15 ~ 14:45)

(1) 「稲麦大豆等土地利用型農業における自動農作業体系化技術の開発」

北海道大学大学院農学研究院准教授 石井 一暢氏

(2) 「農業機械におけるシンプル化と情報化・高度化を両立する通信制御共通化技術の開発」

北海道農業研究センター畑作研究領域主任研究員 濱田 安之氏

(3) 「先端技術の営農利用と営農視点から見た研究開発への提言」

(株)イソップアグリシステム精密農業 プロジェクトマネージャー 馬渡 智昭氏

#### 5 総合討論 (15:00 ~ 15:50)

「大規模農業を支える農業機械・先端技術の研究開発戦略とは」

座 長：(社)北海道農業機械工業会 専務理事 原 令幸氏

<同時開催>GPSガイダンスシステム、農作業ロボットなどの機器及び研究情報の展示  
(北海道農政部・北海道農業機械工業会主催)

<主 催> (社)農林水産技術情報協会、(社)大日本農会

<共 催> 北海道、(社)北海道農業機械工業会

<後 援> 国土交通省北海道開発局、北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、(独)農研機構北海道農業研究センター、(地独)北海道立総合研究機構

<参加費> 無料

<定員> 180名

<申込方法> 平成23年11月25日(金)までに、Eメール、FAXまたは郵送でお申込ください。

(1) Eメール : yamamoto.masahiko@pref.hokkaido.lg.jp

(2) FAX : 011-232-1091

(3) 郵便 : 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目  
北海道 農政部 技術普及課 山本

URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/gjf/jisedai2.htm>

## 北海道地域農業交流セミナー参加申込

開催月日：平成23年12月6日（火）

テーマ：高度化する農業技術（機械・情報）と大規模先進農業への活用

所属・役職	出席者名
	(フリガナ)
住所 〒  TEL FAX	

<連絡先>

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目  
北海道 農政部 技術普及課 山本

Eメール：[yamamoto.masahiko@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:yamamoto.masahiko@pref.hokkaido.lg.jp)

TEL : 011-204-5380

FAX : 011-232-1091